

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 1 月 22 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/22 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレ系:約1.9 m ³ /h	19.0	106.9 kPa abs	A系: 0.13 vol %
		給水系:約2.3 m ³ /h			B系: 0.11 vol %
2号機	淡水 注入中	炉心スプレ系:約3.4 m ³ /h	32.2	7.43 kPa g	A系: 0.03 vol %
		給水系:約1.9 m ³ /h			B系: 0.02 vol %
3号機	淡水 注入中	炉心スプレ系:約3.7 m ³ /h	32.3	0.26 kPa g	A系: 0.18 vol %
		給水系:約2.1 m ³ /h			B系: 0.17 vol %

* 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (1/22 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	10.0
2号機	循環冷却システム	運転中	11.4
3号機	循環冷却システム	運転中	9.1
4号機	循環冷却システム	運転中	20

* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機 タービン建屋	1/20 13:31 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	1/18 13:48 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/22 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	運転中	停止中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

* フィルタの洗浄を適宜実施。

- ・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- ・H25/1/15 9:00 第二セシウム吸着装置(サリー)のフィルタ洗浄のため、同装置を停止。今後配管部等の健全性確認を目的とした検査(非破壊検査)を実施するため、1/23 まで停止予定。
- ・H25/1/22 10:37 第二セシウム吸着装置の停止に伴い、タービン建屋の水位の状況等を踏まえて、セシウム吸着装置を起動。同日 11:15、定常流量に到達。

< 5 . その他 >

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5,6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H25/1/8～ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。
- ・H25/1/19 13:15 頃 旧水処理建屋内に設置している使用済燃料プール水補給用ろ過水ヘッダの弁本体よりろ過水が霧状に漏れいしていることを当社社員が発見。漏れた水の範囲は、発見時、約1m×約1mで建屋の中にとどまっており、建屋外への漏れいはない。漏れい停止に向けた対応として、ろ過水配管上流側の弁を閉めたことにより、現在は1秒に2滴ほどの漏れい量となっている。また、漏れい箇所である、ろ過水ヘッダの弁本体を確認したところ、弁本体に亀裂が生じていることを確認。現在、修理方法について検討中。なお、使用済燃料プールへの水補給には影響なし。
- ・H25/1/8～ 1号機サプレッションチェンバ内水の放射線分解による水素発生状況を確認するための事前対応として、サプレッションチェンバ内への窒素ガス連続封入を再開。1/23 封入停止予定。

以上